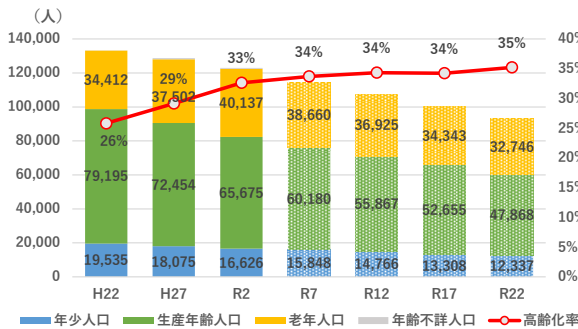


唐津地域公共交通計画【概要版】

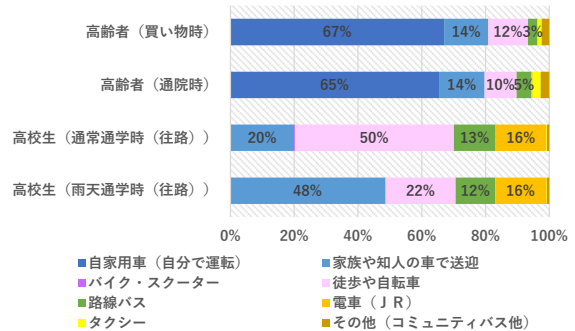
唐津地域の社会情勢

唐津地域の人口は、令和2年時点で122,982人となり、高齢化率は約33%と日本の平均高齢化率28%に比べて高く、今後さらに高くなると予想されている。



注) 平成22年～令和2年は国勢調査による実測値、令和7年以降は国勢調査人口に基づく市の推計値である。

資料：国勢調査、第2次唐津市総合計画
図1 唐津地域の人口推移



資料：住民アンケート、高校生アンケート
図2 唐津地域に住む高齢者及び高校生への移動手段

公共交通を利用すると考えられる高齢者及び高校生でも、外出・通学時に自家用車(自分・家族等の運転)の利用が多くみられ、車依存度が高い。

少子高齢化の進行による住民ニーズの変化に加え、新型コロナウイルスの影響により、公共交通を取り巻く環境が大きく様変わりしました。

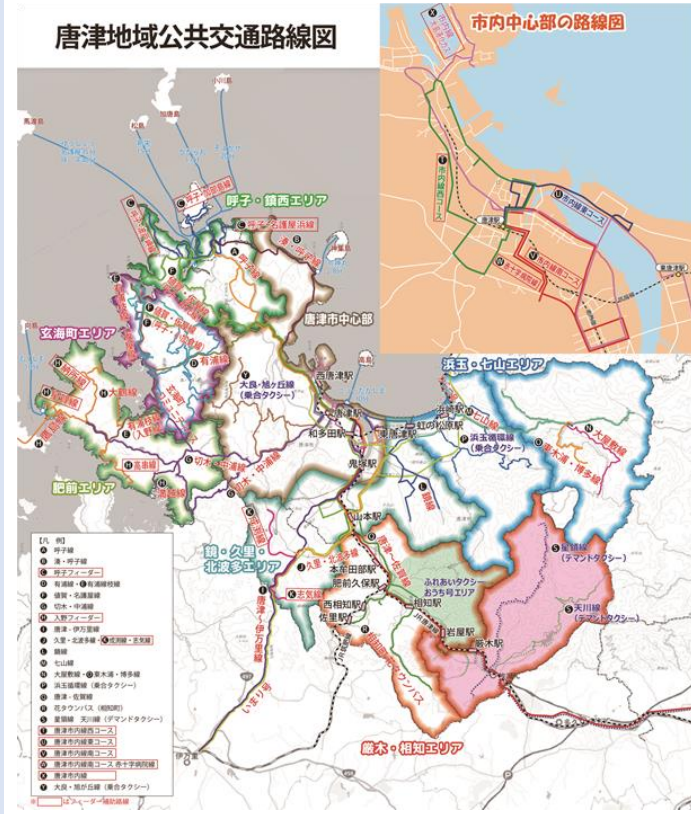
そこで、本地域では誰もが利用しやすい公共交通を地域自らデザインするため、公共交通の現況・課題や公共交通の役割・目標・将来像、具体的な実施事業等を示した

「唐津地域公共交通計画」

を策定しました。

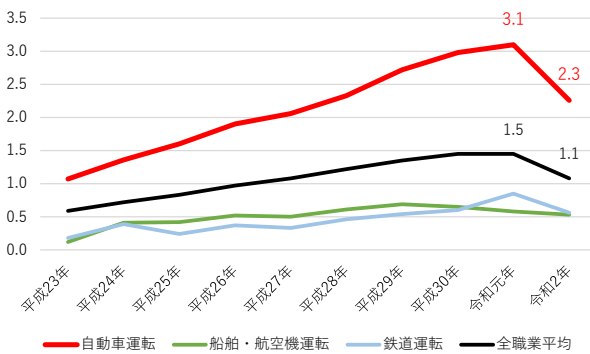
- ◆ 公共交通の基本的な方針：
地域力を最大限活用し、「唐津地域」の生活と活力を支える公共交通～まちづくりと連携した持続可能な移動サービスの実現～
- ◆ 計画期間：令和4年度(2022年)～令和8年度(2027年)の5年間
- ◆ 計画区域：唐津市及び玄海町の全域

公共交通の現況・課題



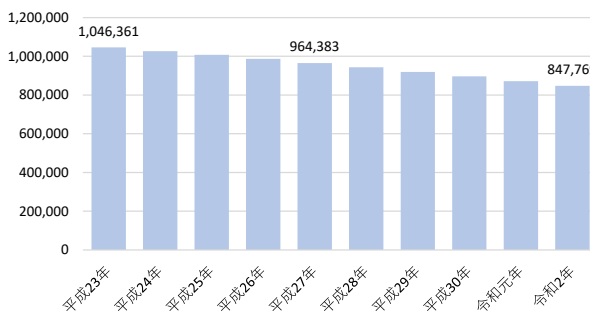
- (1) 公共交通利用者数の減少に応じた公共交通サービスの運行
- (2) 公共交通に対する自治体負担額の抑制
- (3) 高齢者の移動状況に応じた公共交通
- (4) 高校生の移動状況に応じた公共交通
- (5) 交通系ICカードの普及率の向上
- (6) 分かりやすい情報提供

社会的な現況・課題



資料：一般職業紹介状況（全国）

図 運転関連産業の有効求人倍率の推移



資料：運転免許統計（全国）

図 第二種大型自動車運転免許保有者数の推移

- (1) 深刻な運転手不足への対応
- (2) 公共交通分野全般の収益性の改善
- (3) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出行動の変化への対応
- (4) まちづくり等関連する他分野と連携した公共交通施策
- (5) 公共交通に関わる新技術の活用についての検討

公共交通の役割と目指す目標

基本的な方針

地域力を最大限活用し、「唐津地域」の生活と活力を支える公共交通
～まちづくりと連携した持続可能な移動サービスの実現～

4つの役割

①地域に応じた公共交通サービスの提供

③まちづくりとの連動による持続可能な地域の形成

②利用しやすい公共交通の実現

④利用促進のための輸送資源の相互連携

3つの目標

①地域公共交通サービスの最適化と持続性向上

②誰もが公共交通を利用しやすいまちの実現

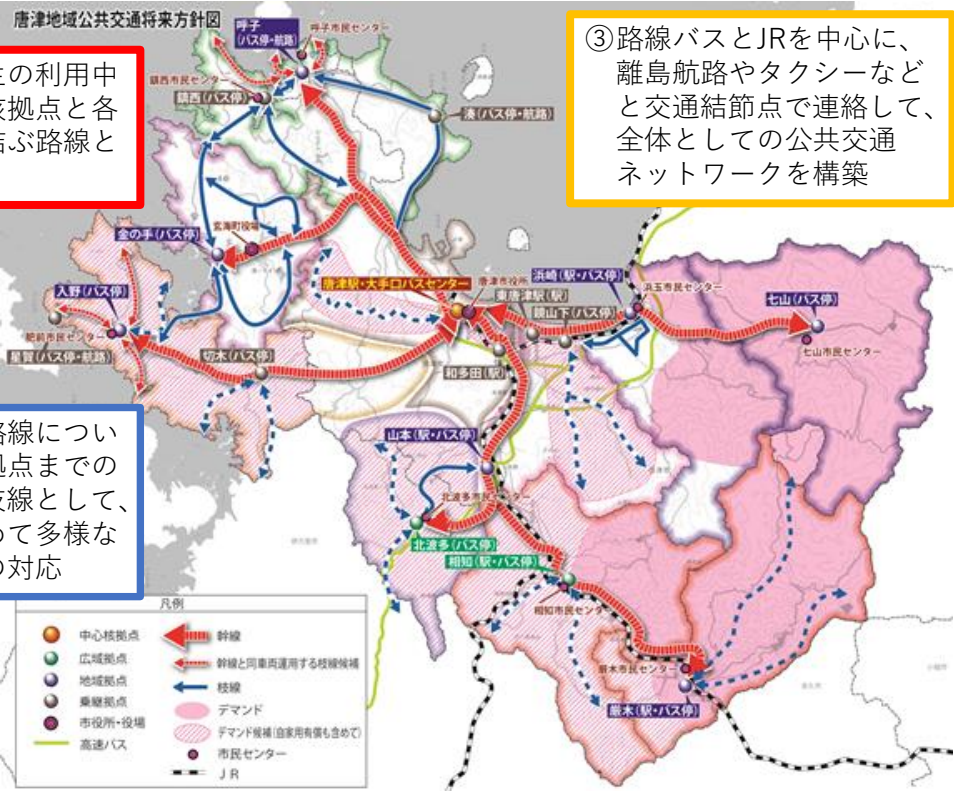
③関係者の連携による公共交通の利用促進

唐津地域の公共交通の将来方針

①幹線は高校生の利用を中心に、中心核拠点と各地域拠点を結ぶ路線として維持

③路線バスとJRを中心に、離島航路やタクシーなどと交通結節点で連絡して、全体としての公共交通ネットワークを構築

②各地域内の路線については、地域拠点までの移動を担う枝線として、デマンドを含めて多様な運行形態での対応



目標達成のための実施事業

目指す目標	実施事業	計画目標 【数値目標：令和元年度実績値→令和8年度目標値】	時期
地域公共交通サービスの最適化と持続性向上	地域間路線・地域内路線による持続可能な公共交通ネットワーク構築	①路線バス利用者1人当たりの公共交通の財政負担額（欠損額） 【227.0円→227.0円】	短期
	利用の低迷する路線における交通モードの転換・輸送資源の総動員		中期
	公共交通の維持に向けた支援（地域間幹線系統、フィーダー系統）	②路線バスの収支率 【38.5%→38.5%】	長期
誰もが公共交通を利用しやすいまちの実現	高齢者運転免許証自主返納者への支援拡充	①公共交通の利用者数（路線バス・JR・離島航路・タクシー） 【11,718人/日 →11,718人/日】	短期
	送迎に過度に頼らず通学できる環境の構築		短期
	二次交通の充実による、観光における公共交通利用促進	②公共交通を利用した観光来訪者数 【75.1万人/年 →75.1万人/年】	中期
	市街地やその周辺における次世代モビリティサービスの導入支援		長期
	まちづくりと連携した新たな利用者の創出		長期
関係者の連携による公共交通の利用促進	交通モードの転換等における地域での関係者による利用促進に向けた検討の場の設置	①ICカード利用率 【26.3%→50%】	短期
	公共交通事業者が一体となった公共交通についての検討の場の設置	②主要交通結節点における利用者数 【2,709人/日 →2,709人/日】	中期
	デジタル技術の活用による、効率性と利便性の両立に向けた移動サービス相互の連携		中期
	全ての移動サービスのオープンデータ化や時刻表作成等、ターゲットに応じた情報提供方法の改善	短期	

唐津地域公共交通計画【概要版】

発行 令和4年3月

唐津地域公共交通活性化協議会